

2022年9月28日

各位

三井住友信託銀行株式会社

グリーンローンの契約締結について  
(株式会社レスターホールディングス)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、株式会社レスターホールディングス(代表取締役 CEO:今野 邦廣、以下「レスターホールディングス」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(以下「LMA」)(※1)等が定めた「グリーンローン原則」に則した「グリーンローン」の融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

グリーンローンは、国内外のグリーンプロジェクトに要する資金を調達する際に用いられる融資です。調達資金の用途がグリーンプロジェクトに限定されるほか、資金の追跡管理や融資実行後のレポートイングを通じ、透明性が確保されるなどの特徴を有しています。

本件は株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、グリーンローン原則への準拠性およびSDGsへの貢献度についてグリーンローン評価「Green 1」(※2)を取得しています。また、グリーンローン評価の取得費用について、令和4年度二酸化炭素排出抑制対策事業等補助金(グリーンボンド等発行支援体制整備支援事業)の認可を受けています。

当社では、グリーンローン等のサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

<レスターホールディングスについて>

レスターホールディングスは、「情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、社会の発展に貢献する」という経営理念を掲げ、世界中の課題を解決する「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指しています。同社は、事業間シナジーおよび外部パートナーとの積極的な共創や資本業務提携等による多様な事業展開、技術領域の伸展、持続的な規模拡大を推進しています。

<本件の概要>

契約締結日	2022年9月28日
実行金額	25億円
資金用途(グリーンプロジェクト)	「茨城県大子町太陽光発電所」建設資金等

<資金使途(グリーンプロジェクト)の概要>

レスターホールディングスは、本件により調達した資金を、茨城県大子町太陽光発電所に関連する建設資金等に充当いたします。

同社は、サステナビリティ経営において「環境にやさしい社会をつくる」をマテリアリティのひとつに設定しており、再生可能エネルギー事業の推進をとおして、CO2 削減とカーボンニュートラルへの貢献を目指しています。

所在地	茨城県大子町
発電電力	13.5MW
年間予想発電量	14,878,107 kWh
年間 CO2 削減量	約 5,765t

(※1) ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する700以上の機関が加盟しています。

(※2) グリーンローン原則への準拠性およびSDGsへの貢献度についてグリーンローン評価

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上